

## 令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・基礎的な内容については定着してきている。
- ・ICT機器の活用で、具体物、図や角の大きさなどを用いて考える習慣が身に付いてきた。
- ・4年、5年生の選択式の問題の正答率は、目標値に到達している。

#### (2) 課題

- ・学年により定着度に偏りがある。
- ・6年生の「小数」と「分数」、「グラフ」の正答率が目標値よりも低い。
- ・学年進行で、記述式の問題の正答率が低くなっている。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	・目標値を上回っている。	/	/
第5学年	・目標値をやや上回っている。	・目標値を上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	・目標値を下回っている。	・目標値をやや下回っている。 (第5学年時)	・目標値を上回っている。 (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算問題や小数を読み取る力は付いている。</li> <li>・円や三角形などの図形の性質の理解に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題や、立式等についての説明（記述）することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を生かして、課題を解決しようとする意識が見られる。</li> </ul>

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算問題や図形について理解している。図形の中の多角形・合同については課題が見られる。</li> <li>・小数や分数、概数などの理解に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題や、領域「変化と関係」について説明（記述）すること、表やグラフの読み取りに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことや既習事項を活用し、生活に結び付けて考えたり、応用したりすることに課題が見られる。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作する活動を継続して取り入れていく。</li> <li>・時計や長さなどの学習では、普段でも意識的に児童と確認し、日常でも使えるようにする。</li> <li>・タブレットのドリルなど、継続的な取り組みを行い、苦手な部分はドリルパーク等を用いて、10の合成や九九の確実な定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を繰り返し読み、言葉の意味、分かっていること、知りたいことを、はっきりさせてから問題に取り組ませる。</li> <li>・説明する場面をつくり、自分の考えとの違いを見付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物やICT教育機器で場面を想起できるようにする。</li> <li>・対話の場面において、学び合い、伝え合い、分かる楽しさを味わわせる。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半具体物を操作する活動を継続して取り入れる。</li> <li>・算数用語一つ一つを丁寧に扱い、説明の際に使えるようにする。</li> <li>・四則計算に継続的に取り組み、苦手な部分はタブレットのドリルやドリルパーク等を用いたり、個別指導をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を正確に読み取り、言葉の意味、分かっていること、知りたいことを明確にさせ、図や表に表してから立式させる。</li> <li>・問題を解決するための方法を話し合わせ、友達の考えの良かったところや自分の考えと同じ部分を見付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物やICT教育機器で場面を想起し、解決の見通しがもてるようにする。</li> <li>・対話の場面から、学び合い、考えを視覚化して、友達の考えを知る機会をつくる。</li> <li>・授業のまとめの場面で学習感想を書かせ、「学んだこと」「今後に生かすこと」の2点を振り返らせる。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数用語を使って説明する機会を意図的・計画的に設ける。</li> <li>・四則計算に継続的に取り組み、苦手な部分はタブレットのドリルやドリルパーク等を用いたり、個別指導をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を正確に読み取り、言葉の意味、分かっていること、知りたいことを明確にさせ、図や表に表してから立式させる。</li> <li>・分かりやすく自分の考えを説明できるようにさせ、友達との対話から、よりよい方法を見付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物やICT教育機器で場面を想起し、解決の見通しを複数もてるようにする。</li> <li>・対話の場面から、学び合い、考えを視覚化して、友達の考えと比較しながら多様な解き方を工夫する習慣をつける。</li> <li>・授業のまとめの場面で学習感想を書かせ、「学んだこと」「今後に生かすこと」の2点を振り返らせる。</li> </ul>